

◆企業を知ることが就活の最初の一步 —企業見学研修—

10月22日(水)、これから就職活動を迎えるキャリアデザイン学科1年生を対象に企業見学研修を実施しました。

この研修は、企業や社会の実際を肌で感じ、キャリア意識をより明確にするきっかけづくりを目的とした体験型キャリア教育支援プログラムです。

今回は、三井アウトレットパーク札幌北広島を運営する「三井不動産商業マネジメント株式会社」と北海道物産の卸売業を営む「株式会社FUJI」を訪問しました。



▲アウトレットパーク内を見学

最初に訪れた三井不動産商業マネジメント株式会社では、会社概要やアウトレットの流通のしくみなどについて説明を受けた後、アウトレットパーク内の各店舗とバックヤードを見学させていただきました。最近、アジア系外国人観光客の利用が増加していることから外国人向けのサービスの強化を進めているとの紹介があり、学生たちは具体的なサービスや消費動向に興味を示していました。

株式会社FUJIでは、多くの北海道物産の商品企画、物流、卸売業務について説明を受け、総合展示場を見学しました。他社との差別化をはかるために工夫がこらされた商品データベースサイト「FUJIナビ」の開発や外国への販路拡大など企業の実際の取り組みに学生たちは熱心に耳を傾けていました。

参加した学生からは、「実際に訪問して知り得る企業の魅力がたくさんあることに気づきました」、「自分の将来を具体的に考える機会となりました」、「企業に入ってから学べるということがわかり、視野を広げて就職活動に臨みたいと思います」などといった感想が寄せられ、今まで知らなかった職種に触れることで働くことへの関心が高まり、良い刺激を得ることができた研修となりました。



①株式会社FUJIの経営資源を教えてくださいました(写真左上下)
②三井アウトレットパーク札幌北広島での記念撮影(写真右)

◆過去を振り返り未来へつなげる —人生すごろく「金の糸」—

キャリア教育支援プログラムの一環として、9月18日(木)に人生すごろく「金の糸」を実施し、キャリアデザイン学科の1年生が受講しました。

これから始まる就職活動では面接や履歴書・エントリーシートなどで「自分の価値」をどれだけアピールできるかが成否に影響してきます。そのためには自分の長所や特長を把握し、具体的に説明ができるように準備しておかなければなりません。そこで自己分析という作業が重要になってきます。

このプログラムは、すごろくゲーム形式で小学校から大学までのそれぞれの時点での出来事や将来の夢などを振り返り、自己理解を促進しながら、未来のキャリアにつながる過去を思い出して語り合うものです。ゲームの最後に、振り返りの中から自分を貫くものの見方、いわゆる「金の糸」を発見することを目標としています。



受講した学生は、「これまでの経験や思いを言葉にするのが意外と難しかったです」、「グループの他のメンバーから見た“自分らしさ”がとても参考になりました」、「この“気づき”を就職活動に役立てたいです」、「今回は“金の糸”を見つけることができませんでしたが、これからも自己分析を続けることで自分に合った仕事を見つけていきたいです」と感想を述べていました。



◆少子化や子どもの問題に関する理解を深める

10月20日(月)、北海道が推進する少子化対策の一環として、少子高齢化の急速な進展や人口減少社会を迎える中、家庭や子どもを持つことが身近なこととなる学生を対象に、特別講義「大学との連携による次代の親づくりのための教育」を本学で実施しました。

講義では、北海道保健福祉部の職員から北海道の少子化の現状について説明を受けた後、特定社会保険労務士の田原咲世氏から「ワークライフバランスと機会費用(チャンスコスト)の秘密」と題して、男女がともにバランスよく仕事、家庭、地域に関わることができるような社会を実現するにはどんな問題や課題があるのか、その際に必要となる家計についてのお話がありました。

また、本学では、一般社団法人教育人材認証協会が認証する「こどもパートナー講座」を毎年度実施しており、学生や地域の方々が子どもの理解の仕方や様々な場面に応じた子どもとの接し方などを学ぶ機会も設けております。今年度は9月27日(土)に大学内で開講され、キャリアデザイン学科の学生14人が受講し、「こどもパートナー認証」を取得しました。

